

令和2年度事業報告及び 歳入歳出決算の概要

社会福祉施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1. 令和2年度の主な取り組み

(1) 社会福祉施設の安全安心な運営

(2) 感染症まん延下における福祉サービスの充実

(1) 社会福祉施設の安全安心な運営

施策の概要

- ・感染症対策や人材確保等の課題改善にかかる情報共有及び研修会の開催
- ・オンラインも含めた各種専門研修等の積極的な受講



感染症対策に係る情報共有も行った事務職員対象の研修会（本社主催Web会議）

成果

- ・安定した施設運営体制の強化
- ・介護や保育に関わる職員のスキルアップによるサービスの安全性及び質の向上



職員を対象とした幼児安全法短期講習の開催（武蔵野赤十字保育園）

(2) 感染症まん延下における福祉サービスの充実

施策の概要・成果

(ア) 利用者のストレス軽減及び安心感の醸成

- ・新たな面会方法(オンライン、ガラス越し、アクリル板越し、ドライブスルーなど)の導入
- ・オンラインによるボランティアの受入れ



オンライン面会の様子
(特別養護老人ホーム大寿園)



オンラインによるボランティアの受入れ
(大阪赤十字病院附属大手前整肢学園)

(イ) 感染状況に応じた地域貢献活動の実施による 地域における社会福祉ニーズへの的確な対応



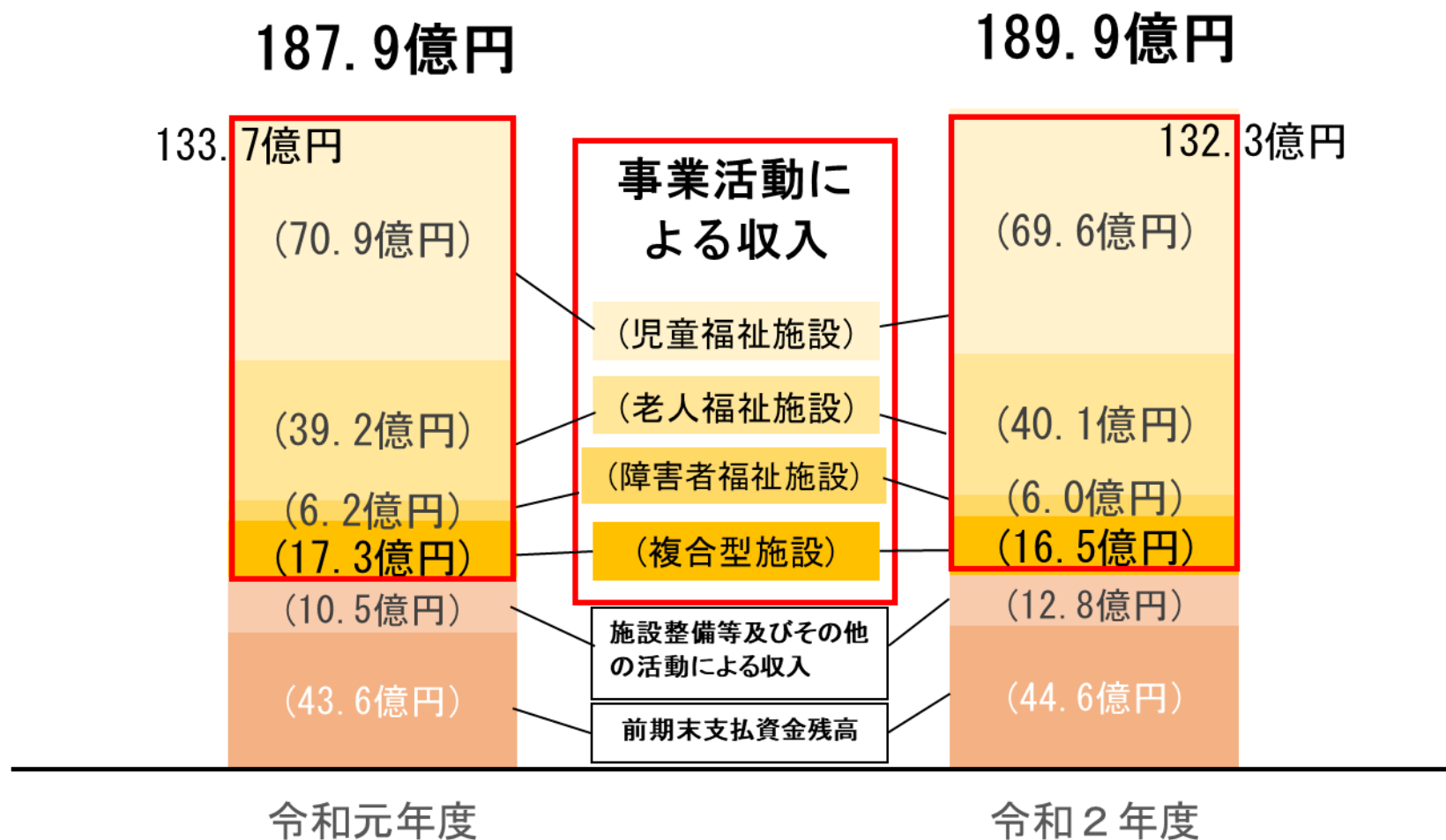
地域の親子を対象とした子育て支援
事業の実施(松本赤十字乳児院)



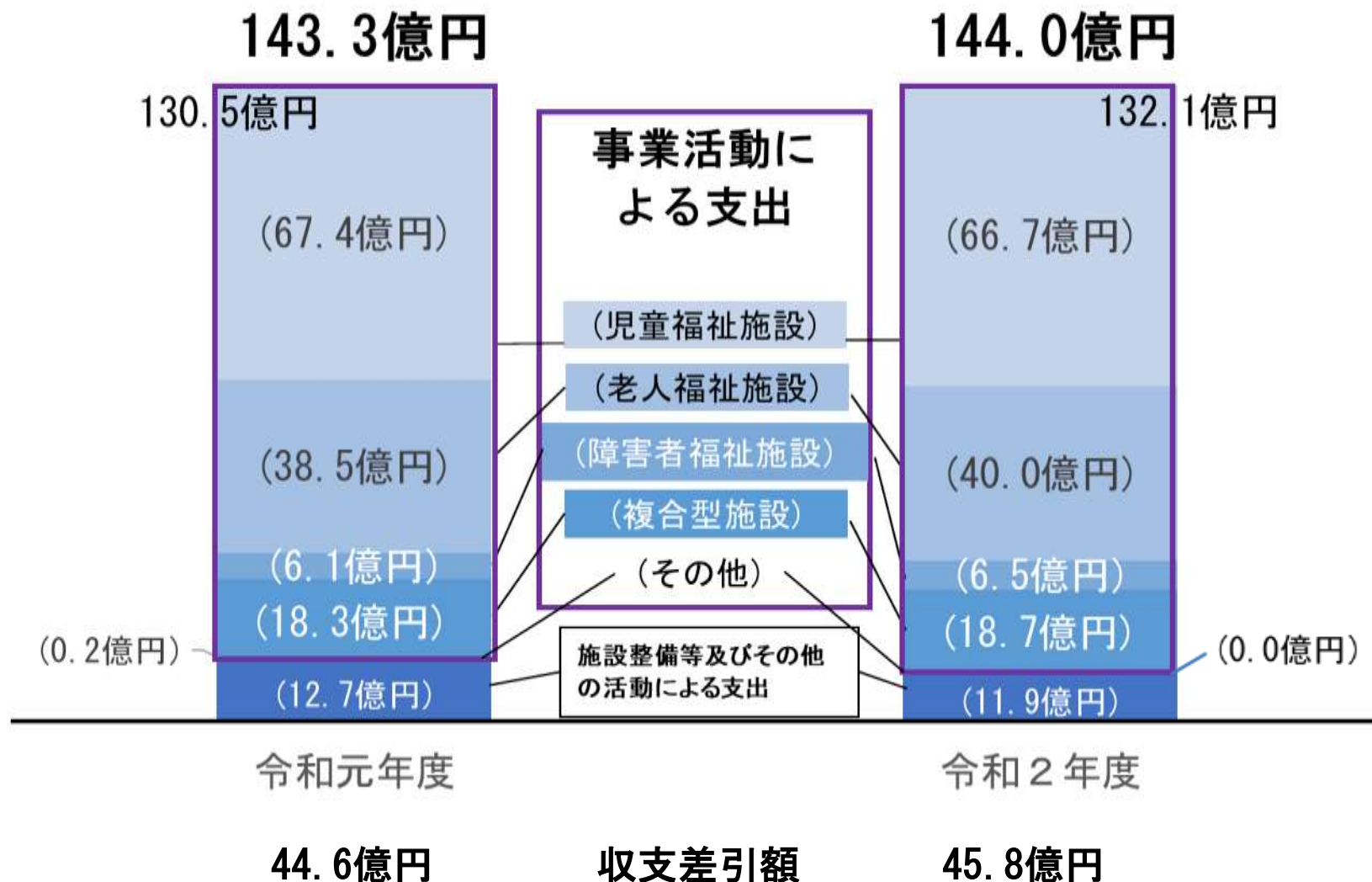
近隣小学校における介護学習訪問の
実施(特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘)

2. 歳入歳出決算のあらまし

(1) 歳入



(2) 歳出



3. 今後の方向性・課題

項目	目標	これまでの取り組み	今後の方向性・課題
社会福祉施設の経営改善及び安全・安心な運営	- 経営管理の強化 - 安全・安心な施設運営	- 課題改善のための情報共有・研修会の実施 - 専門研修の受講促進	- 更なる経営管理意識の向上 - 安全・安心な施設運営の強化
人材確保・研修体制の構築	- 人材確保に係る課題検証 - 研修体制構築に係る課題検証	人材確保対策に係る情報収集	- 効果的な人材確保対策の実施 - 充実した研修体制の構築
ボランティアの活動範囲拡大	ボランティアの活動範囲に係る検討	コロナ禍における各施設の取組みの情報共有	- ボランティアの活動範囲の拡大 - ボランティアの安全管理対策
地域貢献活動の強化	- 地域の社会福祉ニーズの再確認 - 新たな活動の検討	コロナ禍における各施設の取組みの情報共有	- 地域の社会福祉ニーズの再確認 - 新たな地域貢献活動の展開